

1 年 を 振 り 返 っ て

僕は、親友である○○○君が鹿島に留学していることを知り、締切ぎりぎりで申し込みをしました。

面接で鹿島に来た時は、海・山を見てとにかくすごいと思いました。そして、ついに鹿島の留学が始まりました。最初の日、僕はとても不安だったけれど、人を気持よく唄うしてくれたのは、優しく厳しい里親さんだ。最初の日から「K.R」と呼ばれ、くりした反面、もう受け入れてもらっているのを感じました。

僕は東京では絶対にできない、天草採りやマラソン大会・鹿島太鼓などの様々なことに挑戦してきました。そんなことに取り組む中で、僕は自分の心が少し大きくなっていった気がします。だから、僕はここ鹿島で過ごした中で起きた楽しい思い出・悲しい思い出を絶対に忘れません。

そして、ここで身に付けた心・技・体を活かしてこれからの人生を送りたいと思います。里親さん、友達、先生、地域の方、本当にありがとうございました。

里親さん、学校の先生、地域のみなさん素晴らしい体験をありがとうございました。♪